

総務部総務課長
兵頭 章夫 様

福祉事務所子育て支援課長 宇都宮 博

会 議 要 録

名 称	令和4年度第1回西予市子ども・子育て会議	
事 務 局	西予市福祉事務所 子育て支援課	
	電 話 0894-62-6551	
	F A X 0894-62-6564	
開 催 日 時	令和5年2月15日(水) 10:00 ~ 11:50	
開 催 場 所	西予市教育保健センター2階 集団指導室	
出席者	委 員	保育所保護者代表(私立) 杉田麻友美 三瓶ひまわり保育園 幼稚園保護者代表(公・私立) 増田麻希 卯之町幼稚園 小学校長代表 賀原浩文 野村小学校長 保育所長代表 大石美智子 野村保育所長 認定こども園長代表 山田里香 うわまち未来こども園長 幼稚園長代表 小野輝 三瓶幼稚園 児童福祉・事業主代表 柿内誠司 西予総合福祉会 児童福祉・事業主代表 藤原由美 三瓶福祉会 学識経験者 中野増美 主任児童委員 委員 9名
	事務局	福祉事務所長 一井健二 子育て支援課 宇都宮博 信宮佳子 清家亮 大野本幸 佐々木ちひろ 芝陽介 村上真紀 学校教育課 榎田寿美子 生涯学習課 森本裕恵 健康づくり推進課 上甲京子 行政 11名 総計 20名

議事内容(要旨)

- 1 開会
- 2 福祉事務所長あいさつ
- 3 委員及び事務局自己紹介
- 4 会長・副会長の選出
委員互選により 会長：藤原由美
会長の指名により 副会長：中野増美
- 5 協議・報告事項
 - (1) 西予市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
会 長：質疑を求める。
会 長：児童扶養手当については、なぜ引き下げとなるのか。
事務局：物価スライドの関係で増減する。令和5年度は上がる見込みである。
委 員：児童手当の支給されない人19名については、子どもの数か。金額的にわずかなら、その人たちに対しても市として支給してあげてはどうか。
事務局：19人は受給者数である。特例給付が月5千円の給付となるので、5千円×子どもの人数×12カ月で金額が算出できる。
 - (2) 西予市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて
会 長：質疑を求める。
委 員：延長保育事業については、未来こども園について今は行っていないので、休止ということで3園ということでよいか。
事務局：よい。
委 員：学童保育関係で放課後子ども教室「明下田クラブ」が利用者減少している。今後の人員確保はどうなるのか。また、学童を主とするのか、放課後子ども教室を主とするのか、職員の確保も大変なので、西予市の考えを聞かせてほしい。
事務局：どちらを進めていくかということは、今後、運営委員会の中でも検討していく。
会 長：三瓶でも定員割れのところがある。児童クラブでも児童減少が続いていくだろうし、コロナの影響も利用に関係しているのでは。

(3) 子ども医療費助成対象年齢の拡充について

会 長：質疑を求める。

委 員：18歳まで医療費無償化するのはいいことだと思う。それをすることによって出生数が増えるということに西予市としてはどういう見込みを考えているのか。

事務局：県内でも取り組んでいる。これだけで出生率があがるとは言えないが、また別の施策も抱き合わせて進めていきたい。経済的などころ、教育的などころ等の施策もまた今進めているところである。

会 長：産んでから安心してから育てられる環境が大事だと思うのでよろしくお願ひしたい。

(4) 野村幼稚園・野村保育所統合による「認定こども園」への移行について

会 長：質疑を求める。

委 員：令和7年度に向けてプロジェクトチームを立ち上げ、保護者にもアンケートをとったりして現在計画中である。

(5) 市内保育所等入所状況について

会 長：質疑を求める。

委 員：特になし

(6) 市内の子育て遊具公園について

会 長：質疑を求める。

会 長：前回の子ども・子育て会議でも遊び場が少ないという意見があり、とてもいい計画だと思う。

委 員：西予市の木材を使って遊具を作るというのは、小さい子供がいる家庭にはいい。時間帯によっては朝露で濡れて遊べないこともあるので、乾きやすい素材にしてほしい。天気を選ばずに遊べることができれば嬉しい。

委 員：近隣市町からも来ていただけるような計画はあるか。もう少し高年齢の子も遊べるようなダイナミックな遊具等もあればよいのではないか。

事務局：防水の関係は業者に確認してみる。西予インターを降りてすぐの場所なので、近隣市町、県内

から来てもらいたい。県内初・フリーフォール滑り台も考えている。また築山の上にブランコ等も考えている。小さい子から、小学高学年までが遊べることを想定している。

委員：木造遊具は腐食するので、せっかくいいものを作るので、10年、20年使える管理にしていきたい。

会長：安全面はどうなっているか？

事務局：柵を設置するような計画で進めている。

(7) 母子保健関係事業について【資料7】

会長：質疑を求める。

委員：特になし。

(8) その他

委員：いろんな支援の内容を聞いて、子育てに重きを置いてる西予市は素晴らしい。生活支援員の人材不足がある。発達障害の子を支えることが、周りの子どものためにもなる。学校運営にもかかわるので、人材の確保をお願いしたい。給食費無料等も検討していただきたい。

委員：保育士不足が待機児童数増の原因かと。働きやすい環境を検討していき、一緒に取り組んでいきたい。

委員：子育ての中で、子どもが大きくなったときにこの子がどう生きていけるのか考える。子育て以外のところも考えて行ってほしい。

委員：保育士不足を感じている。資格をとりながら就労しない保育士もいる。配慮を要する子ども増えているので、ますます加配の職員もほしいところ。

委員：地元に戻ってこないという子が多い。せっかく生まれ育った町、ずっと長く住み続けてほしい。西予市と一緒にあってよりよい西予市・子育てしやすい町にしたい。

委員：宇和で生まれ宇和に戻ってきたので、医療費のことを聞いてうれしく思った。子育てグループの出前講座に参加したが、そのような場があった。西予市の中で子育てしている実感

	<p>が沸く場をもっと提供してほしい。</p> <p>委員：支援の内容を知ることができたが、まだ足りていないのではないかと思う。いろんな面での支援が必要。もう1人・2人、子どもを産もうかと思えるような取り組みがあればいいなと思う。</p> <p>委員：経済的なものだけではなくて、心理的な援助・相談が根底にあると思う。みなさんの発言が少しでも形なればよい。</p> <p>事務局：色々なご意見ありがとうございました。来年の目玉として、医療費無償化、進学準備応援金、第二子無償化を計画している。また、みなさんにご提案いただき、政策に結び付けていきたい。</p> <p>会長：給食費無償化もぜひお願いしたい。</p> <p>6 閉 会</p> <p>副会長：主任児童委員をしているが、経済的だけではなく、精神的なもので大変困っている家庭が多いと感じている。困りごとの情報も、また伝えていきたい。</p>
備 考	